

越谷市の

ざいせいの状況

〈平成29年度上半期〉

主な内容

| | |
|-------------|-------|
| 一般会計予算の執行状況 | 2~4 |
| 特別会計予算の執行状況 | 5 |
| 市債現在高の状況 | 6 |
| 一時借入金の状況 | 7 |
| 財産の状況 | 7 |
| 平成28年度決算状況 | 8~10 |
| 市債現在高の推移 | 11 |
| 健全化判断比率等の公表 | 12~13 |
| 主な財政指標 | 13 |

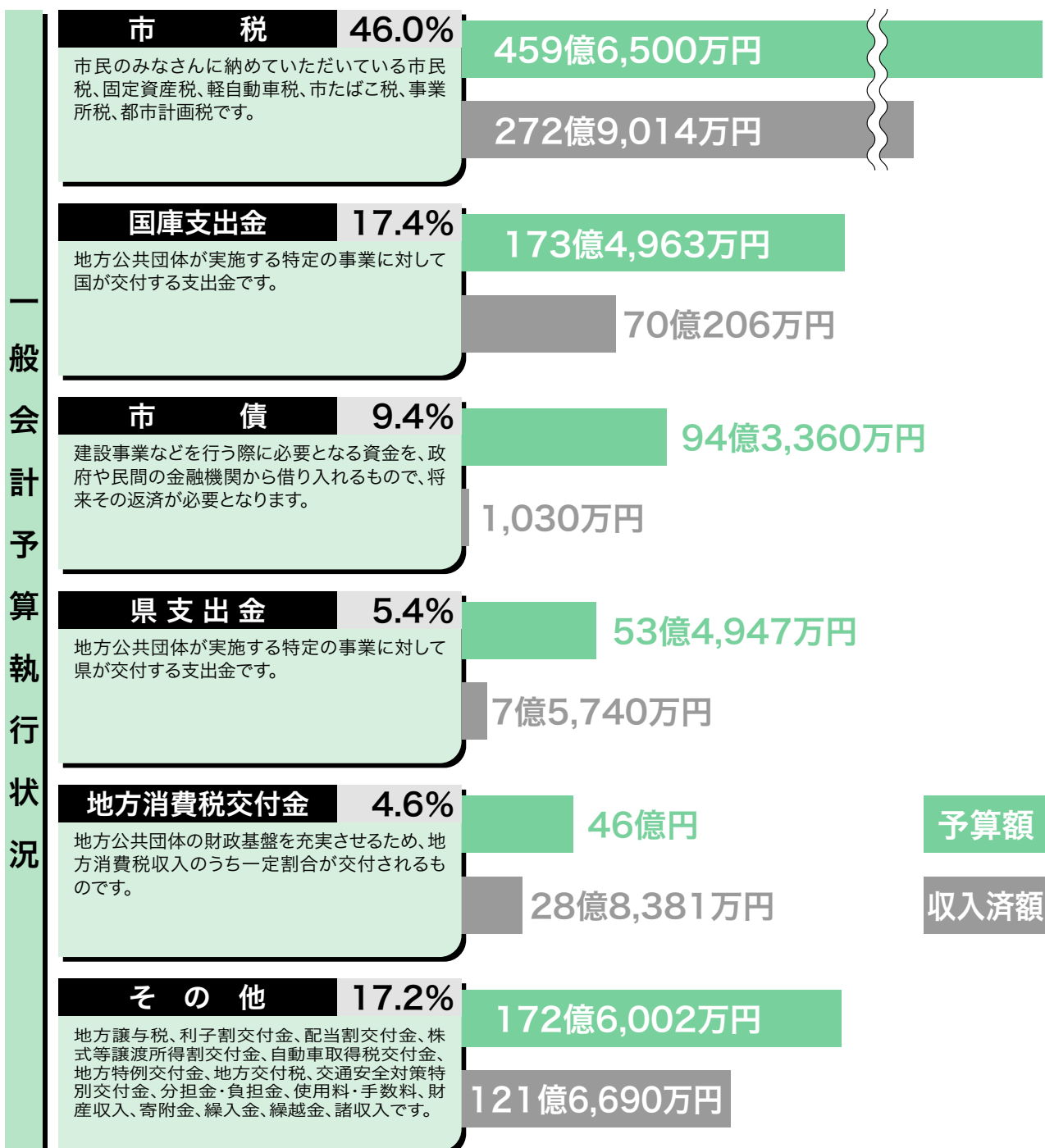
平成 29 年 度

市では、年2回越谷市の財政状況を公表しています。今回、公表するのは平成

一般会計

一般会計は、越谷市の行政運営の基本的な経費を中心に計上されたものです。平成29年度の予算額は999億5,772万円（繰越事業を含む）であり、その執行状況（収入・支出済額）は平成29年9月30日現在、次のとおりです。

歳入



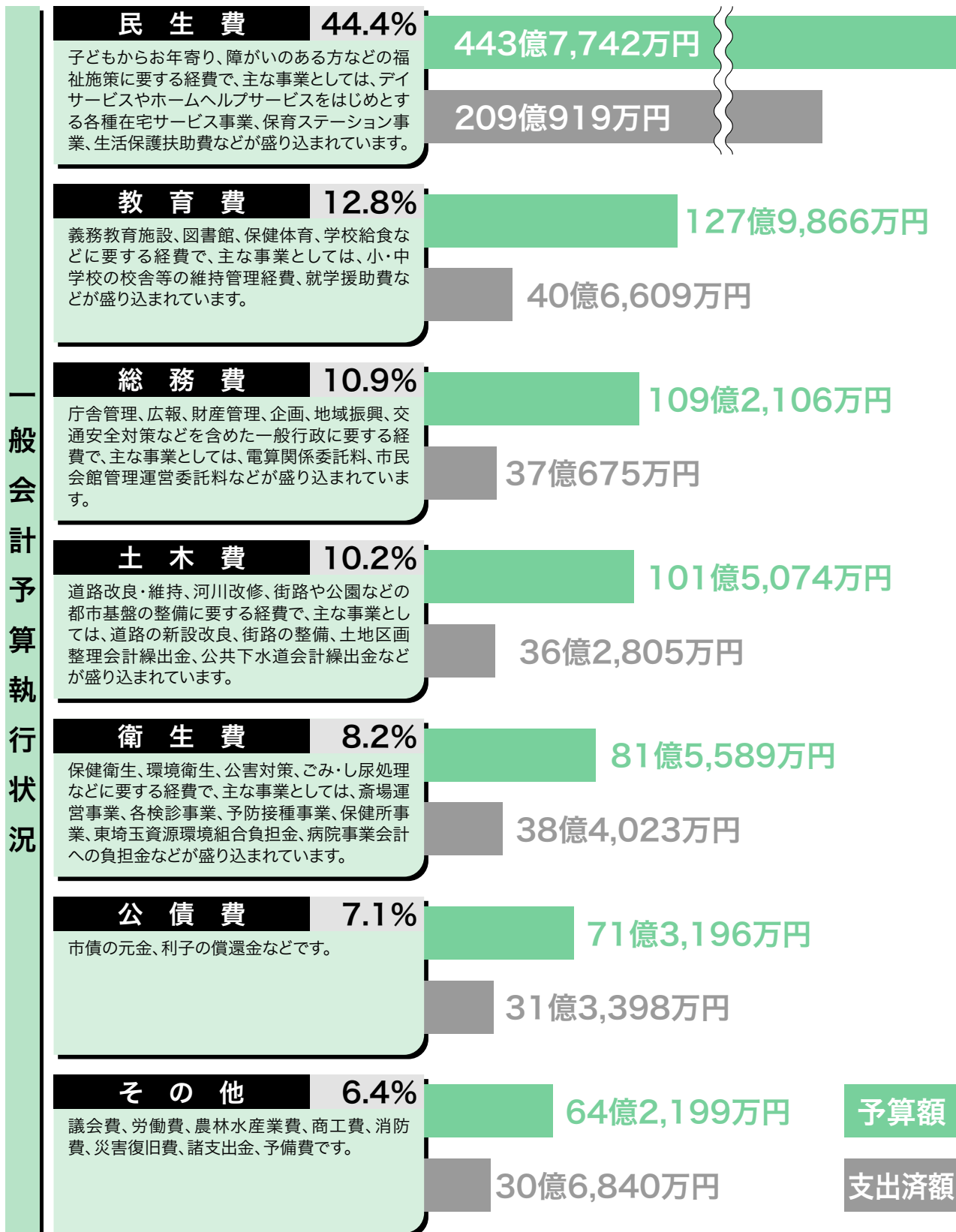
は構成比

*金額は調整の上、1万円単位で表示しています。

予算執行状況

29年度上半期（平成29年4月1日～平成29年9月30日）の執行状況です。

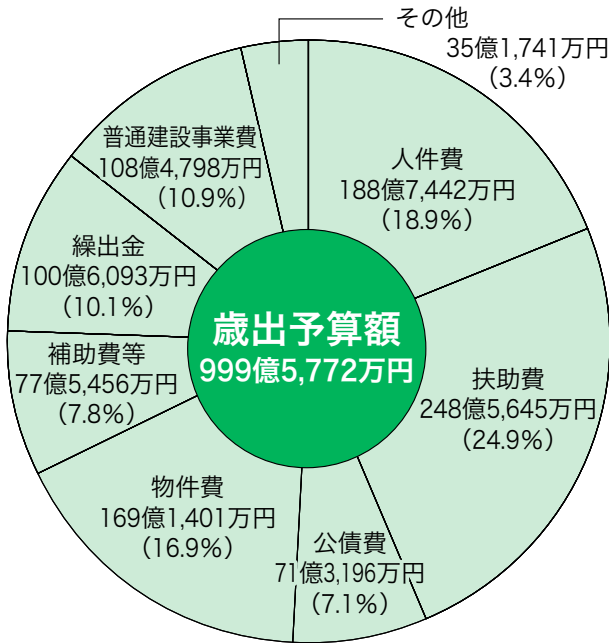
歳出



は構成比

歳出予算の 性質別割合

歳出予算をその経済的性質を基準として分類するもので、地方公共団体の財政の体質分析の指標となり、この分類の結果から財政運営の指針を見いだすことができます。平成29年度予算を性質別に分類すると次のとおりです。



- 人件費(職員の給与など)
- 扶助費(各種福祉サービスを提供する経費など)
- 公債費(市債の元利償還金など)
- 物件費(委託料や備品購入費など)
- 補助費等(負担金や補助金など)
- 繰出金(特別会計への繰出金)
- 普通建設事業費(学校や道路、公園などを建設する経費)
- その他(維持補修費や貸付金など)

市民1人 当たりの予算額

平成29年度の歳出予算額と市税予算額を市民1人当たりに換算すると、それぞれ次のとおりです。

(平成29年9月30日現在の人口 340,206人)

| 市民1人当たりの歳出予算額 293,815円 | | | | | | |
|------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 民生費 130,443円 | 教育費 37,620円 | 総務費 32,101円 | 土木費 29,837円 | 衛生費 23,973円 | 公債費 20,964円 | その他 18,877円 |

| 市民1人当たりの市税負担額 135,109円 | | | | | |
|------------------------|------------------|---------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 市民税 65,919円 | 固定資産税 52,865円 | 軽自動車税 932円 | 市たばこ税 6,599円 | 事業所税 1,969円 | 都市計画税 6,825円 |

【平成29年度の市税予算額 459億6,500万円】

- | | | | |
|---------|-------------|---------|------------|
| ● 市民税 | 224億2,600万円 | ● 市たばこ税 | 22億4,500万円 |
| ● 固定資産税 | 179億8,500万円 | ● 事業所税 | 6億7,000万円 |
| ● 軽自動車税 | 3億1,700万円 | ● 都市計画税 | 23億2,200万円 |

特別会計

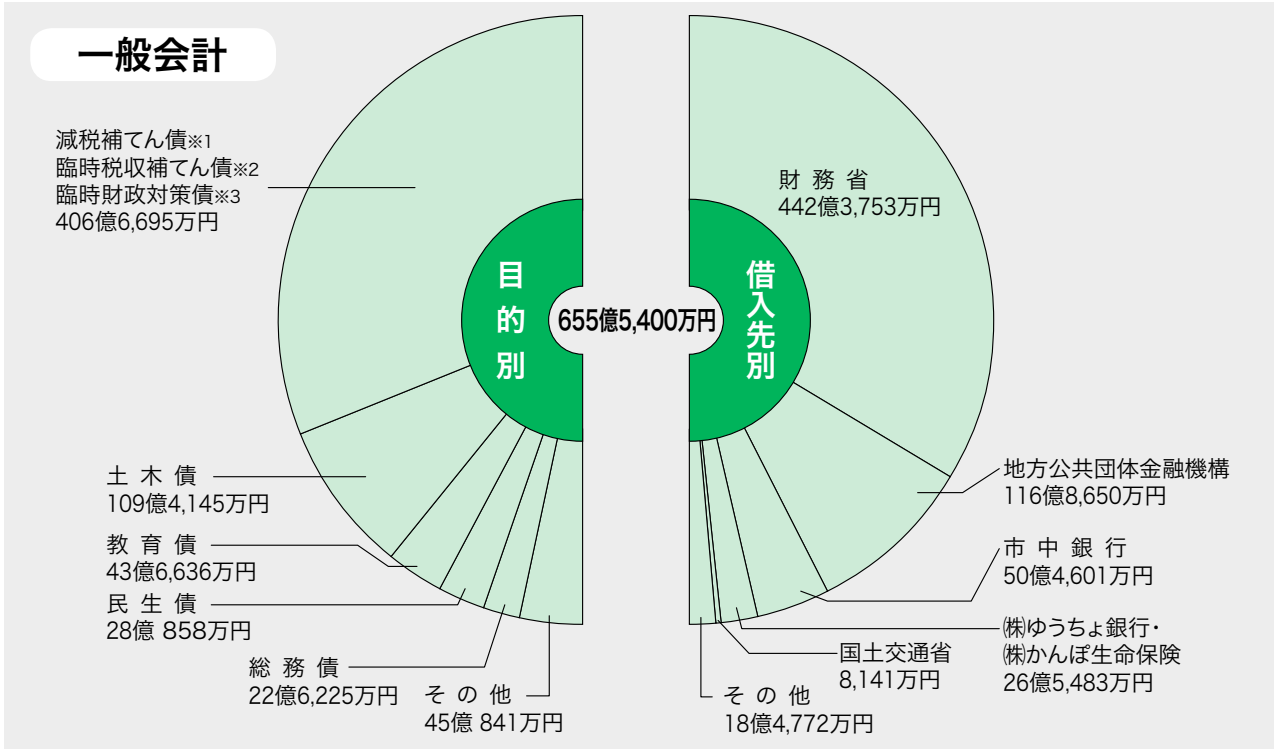
特定の事業を行う場合に、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合、一般会計とは別に特別会計を設けています。越谷市には、国民健康保険会計をはじめ9会計あり、それぞれの執行状況は平成29年9月30日現在、次のとおりです。

会計別執行状況

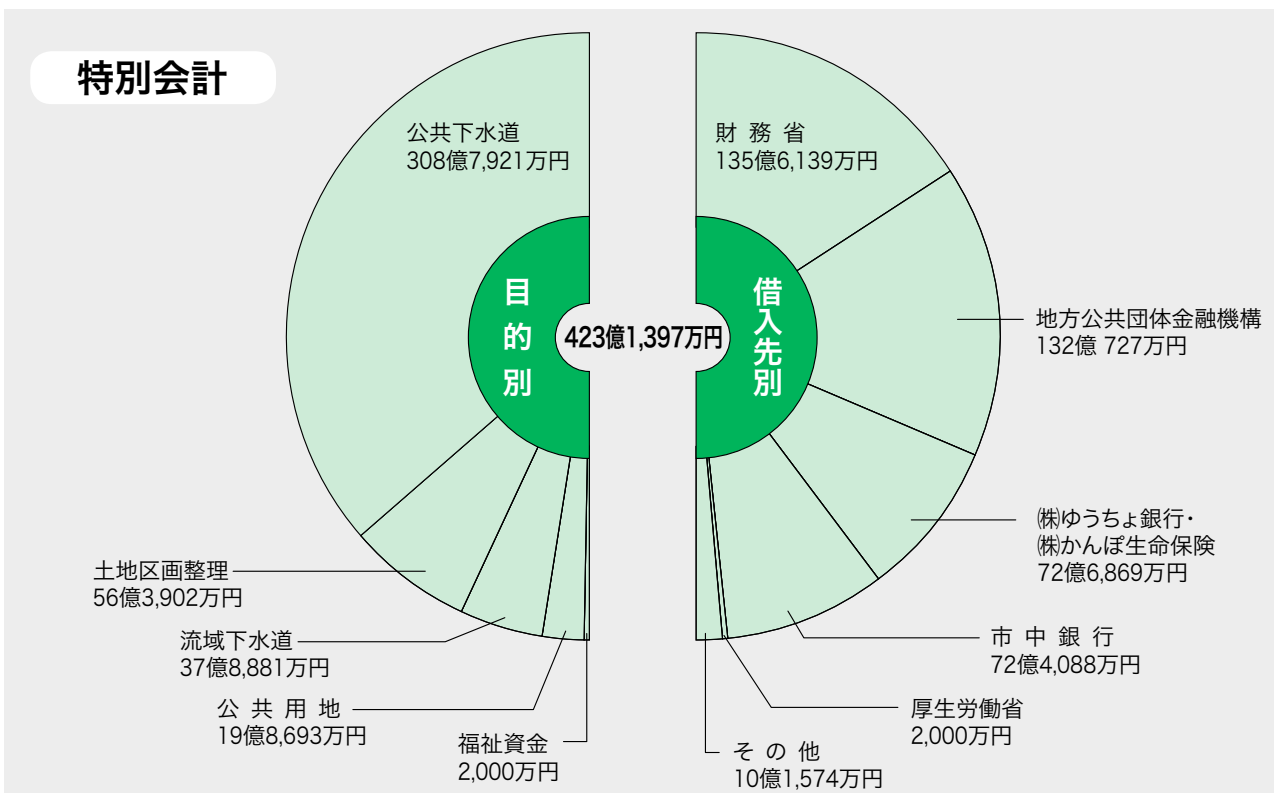
| 会計名 | 事業内容 | 予算額 | 収入済額 | 支出済額 |
|------------------|---|-------------|-------------|-------------|
| 国民健康保険 | 被保険者の疾病、負傷、出産、葬祭に関して必要な保険給付事業 | 418億9,750万円 | 184億1,751万円 | 183億4,393万円 |
| 後期高齢者医療 | 老人保健制度から移行された新規事業で、75歳以上又は65歳以上で一定の障がいの認定を受けた方への医療給付事業(各市町村で徴収した保険料を埼玉県後期高齢者医療広域連合に納付し、広域連合で医療給付を行います。) | 34億 551万円 | 13億7,049万円 | 11億 400万円 |
| 介護保険 | 原則65歳以上の方への必要な居宅介護・施設介護サービスなどの保険給付事業及び自立した日常生活の継続を支援していくための介護予防事業 | 178億2,021万円 | 105億3,957万円 | 73億1,722万円 |
| 母子父子寡婦福祉資金貸付金 | ひとり親家庭の経済的な自立を助け、生活意欲を高めるとともに、その扶養している子の福祉を増進するために資金を貸付する事業 | 9,925万円 | 7,653万円 | 642万円 |
| 東越谷 土地区画整理事業 | | 3億6,551万円 | 2億1,637万円 | 5,064万円 |
| 七左第一 土地区画整理事業 | 宅地造成を目的とする事業で、道路、下水道、公園等の公共施設を整備して良好な住環境をもつ市街地を形成する事業 | 2億 314万円 | 1億8,649万円 | 5,706万円 |
| 西大袋 土地区画整理事業 | | 33億1,755万円 | 4億2,713万円 | 5億7,955万円 |
| 公共下水道事業 | トイレの汚水や生活排水を処理し、環境の向上を図ることや、雨水を速やかに排除して浸水をなくし、生活の安全を守る事業 | 81億5,617万円 | 35億4,503万円 | 24億4,781万円 |
| 公共用地先行取得事業 | 将来、公共用もしくは公用に供する用地又はその代替地として利用する計画に基づいて用地を取得する事業 | 3億9,000万円 | 10万円 | 1億7,983万円 |

市債現在高の状況

市債は、学校や道路、公園などを整備するために必要な資金を調達する際に発行するもので、後年度においてその返済義務が発生します。越谷市における未償還元金は平成29年9月30日現在、次のとおりです。なお、市債の発行にあたっては、地方交付税により財政的に措置されるものを優先的に借り入れるよう努めています。



※1 地方税を減税したことで生じた歳入の不足を補うための地方債
 ※2 平成9年度の地方消費税の税収が著しく落ち込んだことで生じた歳入の不足を補うための地方債
 ※3 国の財源不足等により減少となった地方交付税交付金を補うための地方債



一時借入金の状況

一時借入金は、支払いに対して手持ちの現金が不足した場合に、これを補うために短期間借り入れるもので、当該年度の出納閉鎖日である5月31日までに返済しなければなりません。平成29年度上半期においては、借り入れ及び現在高ともにありません。

財産の状況

越谷市の財産には、土地、建物などの公有財産と特定の目的のために設置された基金があり、その内容は次のとおりです。

公有財産

行政財産…庁舎や学校、保育所などの建物や敷地など

普通財産…行政財産のように直接行政目的のために供されるものではなく、その経済的な運営によって間接的に行政の執行に寄与することを主な目的とするもの

(平成29年9月30日現在)

| 区 分 | | 土 地 面 積 | 建 物 面 積 |
|---------|-----------|----------------------------|----------|
| 行政財産 | 本 庁 舎 | 15,990㎡ | 21,187㎡ |
| | その他の行政機関 | 消 防 施 設 | 12,211㎡ |
| | | そ の 他 の 施 設 (学校給食センター等) | 30,414㎡ |
| | 公 共 用 財 産 | 学 校 | 322,024㎡ |
| | | 公 営 住 宅 | 10,651㎡ |
| | | 公 園 | 5,395㎡ |
| | | そ の 他 の 施 設 (地区センター等) | 171,703㎡ |
| 小 計 | 573,585㎡ | | |
| 普 通 財 産 | 9,975㎡ | | |
| 合 計 | 583,560㎡ | | |

基金

基金は、特定の目的のために積み立て又は運用するために設けられたものです。現在8の基金を設置しており、各基金の平成29年9月30日現在額や設置内容は次のとおりです。

財政調整基金

16億2,353万円

災害復旧等の不時の支出増や経済事情の変動等の予期しない収入減などに備えるための基金

国民健康保険の保険給付費支払基金

22万円

国民健康保険の保険給付費支払金の不足額に充てるための基金

土地開発基金

25億円

公用又は公共用に必要な土地をあらかじめ取得し、事業の円滑な執行を図るための基金

公共施設等整備基金

20億5,000万円

公共施設等の整備のための基金

越谷しらこぼと基金

9億5,275万円

快適で魅力的なふるさとづくりに活用するための基金

高速鉄道等整備基金

9,711万円

新たな高速鉄道や鉄道関連施設の整備を推進するための基金

介護保険給付費準備基金

15億1,242万円

介護保険事業に要する費用の不足額に充てるための基金

国民健康保険出産費資金等貸付基金

1,002万円

高額療養費及び出産に要する費用を貸し付けるための基金

平成28年度決算状況

平成28年度の事業期間（平成28年4月1日～平成29年3月31日）が終了しましたので、一般会計及び特別会計の決算状況を報告いたします。

一般会計

歳入決算額は、977億6,235万円で、予算額に対して99.2%の収入、前年度決算額に比べ8億8,372万円減となりました。

一方、歳出決算額は、930億246万円で、予算額に対して92.5%の執行となりました。各種福祉施策の充実や、市民生活に欠かせない都市基盤整備などに努めました。

歳入

| 款別 | 区分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 決算額構成比 |
|----------|----|---------------|-------------|--------|
| 市 税 | | 459億3,800万円 | 479億6,886万円 | 49.1% |
| 国庫支出金 | | 184億2,656万円 | 161億2,074万円 | 16.5% |
| 市 債 | | 86億1,890万円 | 60億8,830万円 | 6.2% |
| 県支出金 | | 55億3,396万円 | 53億3,229万円 | 5.5% |
| 地方消費税交付金 | | 46億円 | 47億2,488万円 | 4.8% |
| そ の 他 | | 174億1,754万円 | 175億2,728万円 | 17.9% |
| 合 計 | | 1,005億3,496万円 | 977億6,235万円 | 100.0% |

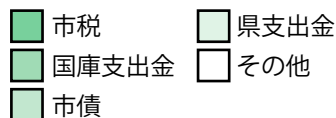
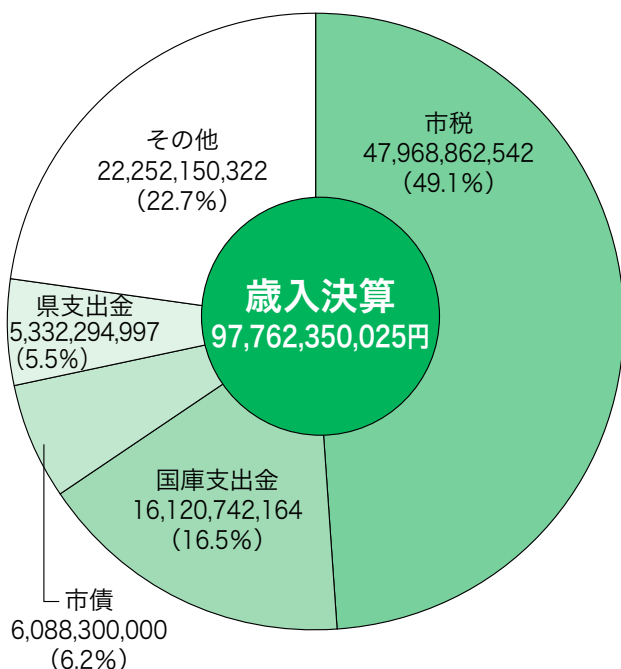
歳出

| 款別 | 区分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 決算額構成比 |
|-------|----|---------------|-------------|--------|
| 民 生 費 | | 448億9,252万円 | 425億1,675万円 | 45.7% |
| 土 木 費 | | 106億6,770万円 | 102億5,121万円 | 11.0% |
| 総 務 費 | | 105億2,144万円 | 101億6,030万円 | 10.9% |
| 教 育 費 | | 129億2,795万円 | 91億5,877万円 | 9.8% |
| 衛 生 費 | | 81億4,427万円 | 78億6,938万円 | 8.5% |
| 公 債 費 | | 71億5,154万円 | 71億3,882万円 | 7.7% |
| そ の 他 | | 62億2,954万円 | 59億 723万円 | 6.4% |
| 合 計 | | 1,005億3,496万円 | 930億 246万円 | 100.0% |

歳入・歳出の状況

歳入

単位：円

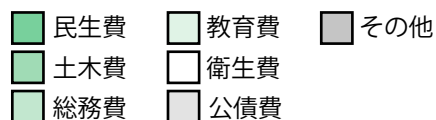
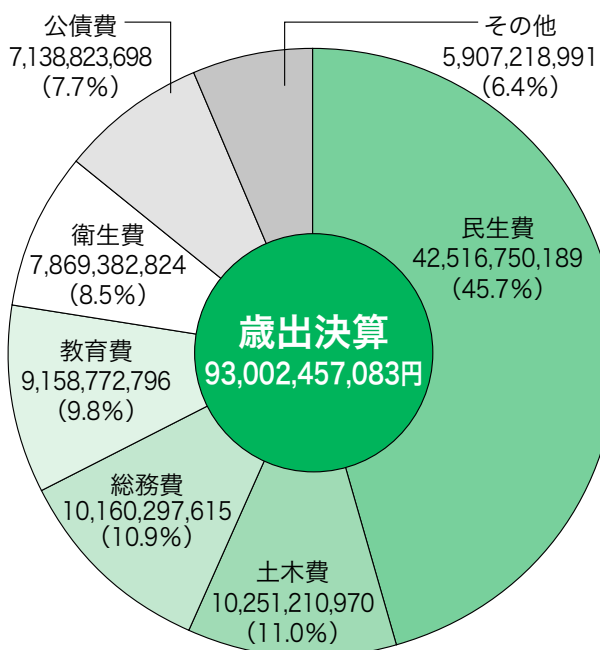


その他の内訳

| | 本年度 | 構成比 |
|-------------|---------------|------|
| 繰越金 | 5,184,436,078 | 5.3% |
| 地方消費税交付金 | 4,724,878,000 | 4.8% |
| 地方交付税 | 3,342,087,000 | 3.4% |
| 諸収入 | 2,856,697,713 | 2.9% |
| 使用料及び手数料 | 1,750,836,085 | 1.8% |
| 繰入金 | 1,603,958,925 | 1.6% |
| 分担金及び負担金 | 836,002,000 | 0.9% |
| 地方譲与税 | 716,525,001 | 0.7% |
| 地方特例交付金 | 311,180,000 | 0.3% |
| 財産収入 | 293,824,287 | 0.3% |
| 自動車取得税交付金 | 226,976,000 | 0.2% |
| 配当割交付金 | 183,757,000 | 0.2% |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 112,006,000 | 0.1% |
| 交通安全対策特別交付金 | 49,024,000 | 0.1% |
| 利子割交付金 | 44,122,000 | 0.1% |
| 寄附金 | 15,840,233 | 0.0% |

歳出

単位：円



その他の内訳

| | 本年度 | 構成比 |
|--------|---------------|------|
| 消費税 | 3,802,128,864 | 4.1% |
| 商工費 | 610,556,646 | 0.7% |
| 議会費 | 567,222,705 | 0.6% |
| 農林水産業費 | 566,701,247 | 0.6% |
| 諸支出金 | 302,236,942 | 0.3% |
| 労働費 | 58,372,587 | 0.1% |
| 災害復旧費 | 0 | 0.0% |

特別会計

行政をより円滑に、かつ効率よく進めるために特別会計を設置し、それぞれの事業目的にそった執行を行いました。

| 会計名 | 区分 | 予算額 | 決算額 | |
|---------------|----|-------------|-------------|-------------|
| | | | 歳入 | 歳出 |
| 国民健康保険 | | 414億4,705万円 | 418億9,732万円 | 399億1,583万円 |
| 後期高齢者医療 | | 32億3,368万円 | 31億8,981万円 | 31億4,444万円 |
| 介護保険 | | 176億1,645万円 | 178億3,561万円 | 167億5,307万円 |
| 母子父子寡婦福祉資金貸付金 | | 7,163万円 | 7,955万円 | 2,220万円 |
| 東越谷土地区画整理事業 | | 4億4,319万円 | 4億4,417万円 | 3億 453万円 |
| 七左第一土地区画整理事業 | | 4億1,161万円 | 4億1,157万円 | 3億3,945万円 |
| 西大袋土地区画整理事業 | | 25億 369万円 | 20億9,729万円 | 19億5,670万円 |
| 公共下水道事業 | | 79億5,894万円 | 80億3,207万円 | 74億3,519万円 |
| 公共用地先行取得事業 | | 9億2,000万円 | 7億8,649万円 | 7億8,639万円 |
| 合計 | | 746億 624万円 | 747億7,387万円 | 706億5,781万円 |

記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため、合計と一致しない場合があります。

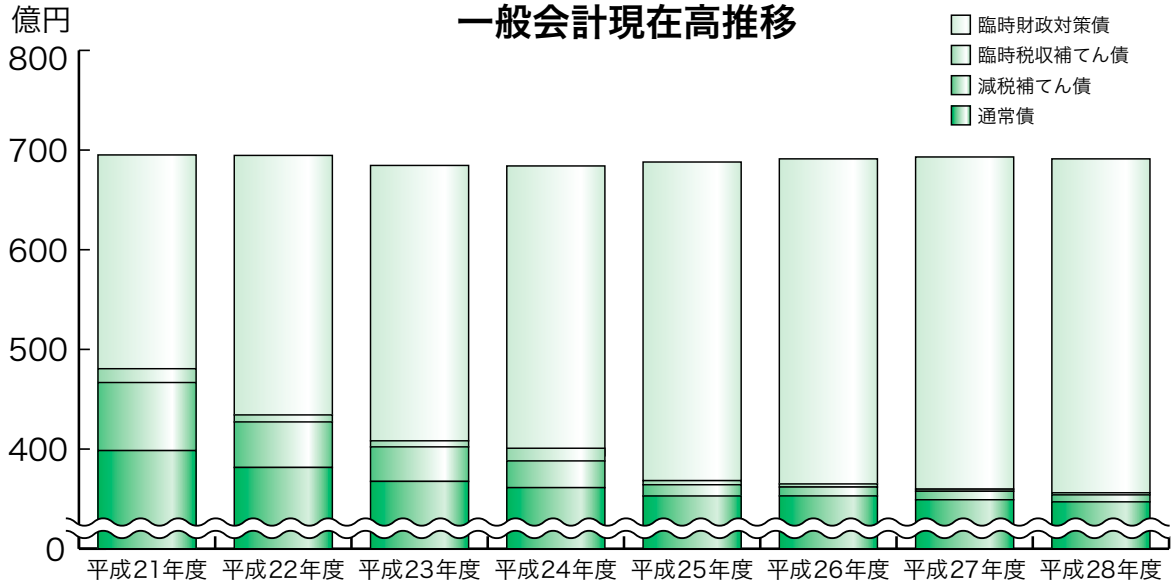
市税の状況

| 税目 | 区分 | 予算額 | 調定額 ^① | 収入済額 ^② | 徴収率 (^② / ^①) | 決算額 構成比 | 市民1人当たり 負担額 |
|---------|----|-------------|------------------------------|-------------------|--|------------|----------------|
| 市民税 | | 226億 300万円 | 245億3,077万円 | 236億3,185万円 | 96.3% | 49.3% | 69,571円 |
| 固定資産税 | | 178億4,200万円 | 188億4,116万円 | 184億5,762万円 | 98.0% | 38.5% | 54,339円 |
| 軽自動車税 | | 2億9,000万円 | 3億6,987万円 | 3億5,201万円 | 95.2% | 0.7% | 1,036円 |
| 市たばこ税 | | 22億5,000万円 | 23億8,305万円 | 23億8,306万円 | 100.0% | 5.0% | 7,016円 |
| 事業所税 | | 6億6,300万円 | 7億4,532万円 | 7億4,153万円 | 99.5% | 1.5% | 2,183円 |
| 都市計画税 | | 22億9,000万円 | 24億5,480万円 | 24億 279万円 | 97.9% | 5.0% | 7,074円 |
| 特別土地保有税 | | 0円 | (107万円) | 0円 | (0%) | 0% | 0円 |
| 合計 | | 459億3,800万円 | 493億2,497万円 (493億2,604万円) | 479億6,886万円 | 97.3% (97.2%) | 100.0% | 141,219円 |

※()内は、徴収猶予分を含む。人口339,677人(平成29年3月31日現在)

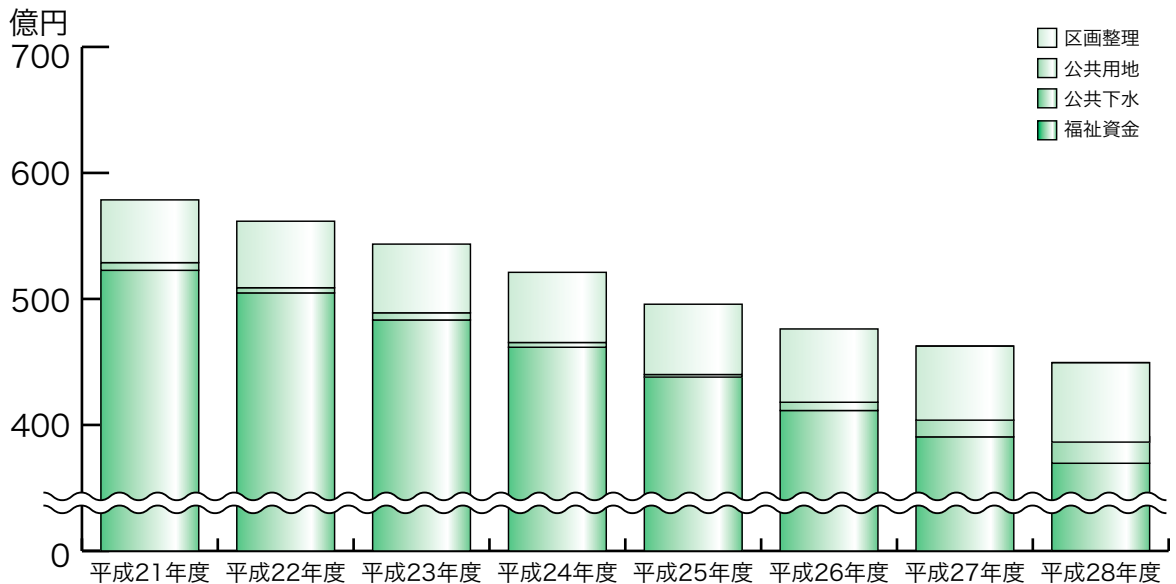
市債現在高の推移

一般会計の市債現在高のうち、教育施設や道路などの整備事業に充てる通常債は減少傾向にあります。国の財源不足等により発行する特例債（臨時財政対策債、臨時税収補てん債、減税補てん債の合計）は増加しています。



| | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 臨時財政対策債 | 2,237,311 | 2,589,937 | 2,869,790 | 3,141,714 | 3,390,737 | 3,631,594 | 3,849,988 | 4,012,758 |
| 臨時税収補てん債 | 79,455 | 70,229 | 60,811 | 51,194 | 41,376 | 31,352 | 21,118 | 10,669 |
| 減税補てん債 | 811,741 | 702,658 | 592,289 | 480,600 | 367,569 | 270,915 | 230,816 | 190,070 |
| 通常債 | 3,727,297 | 3,353,417 | 3,242,633 | 3,144,004 | 3,074,434 | 2,970,435 | 2,813,224 | 2,655,421 |

特別会計現在高推移（区画整理・公共用地・公共下水・福祉資金）



| | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 区画整理 | 498,212 | 527,811 | 545,186 | 556,873 | 557,931 | 581,761 | 588,272 | 588,758 |
| 公共用地 | 61,116 | 41,088 | 57,860 | 37,818 | 20,600 | 65,550 | 132,480 | 209,930 |
| 公共下水 | 5,227,071 | 5,047,964 | 4,833,723 | 4,616,431 | 4,379,530 | 4,114,528 | 3,905,357 | 3,665,778 |
| 福祉資金 | - | - | - | - | - | - | 2,000 | 2,000 |

健全化判断比率等の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率等の指標を公表します。

健全化判断比率

平成28年度決算により算定した各指標の数値は、次のとおりです。いずれの指標も法令に定められた早期健全化基準を下回り、健全と言える結果になりました。

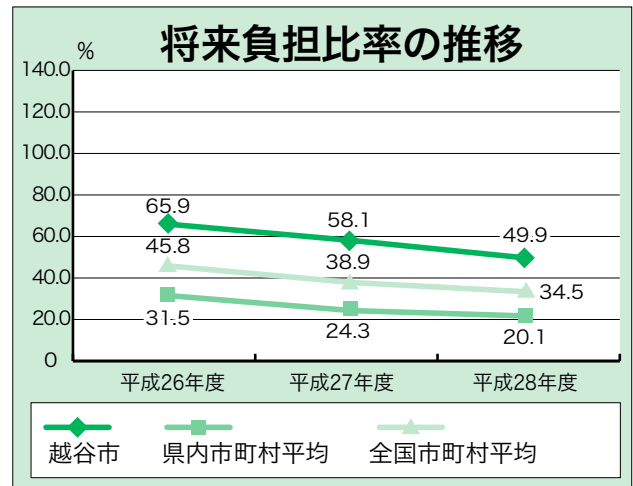
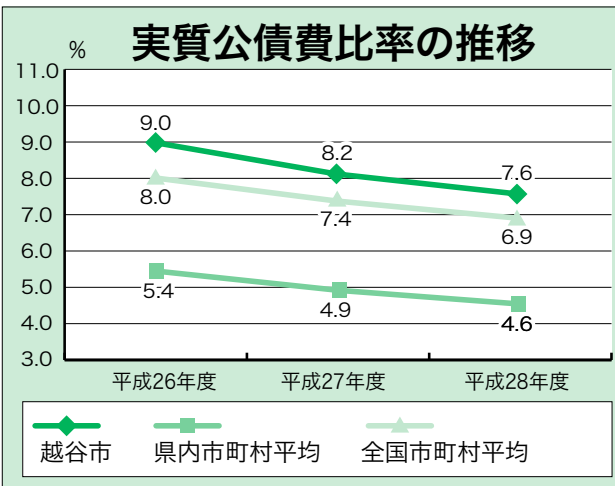
(単位：%)

| 指標名 | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|---------|--------------------------|----------------------------------|---|---|
| | 一般会計等の実質赤字が、標準財政規模に占める比率 | 市のすべての会計を対象にした実質赤字が、標準財政規模に占める比率 | 一般会計等が負担する市債の元利償還金及び準元利償還金が標準財政規模に占める比率 | 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債(市債の現在高、債務負担行為に基づく支出予定額の一部など)の標準財政規模に占める比率 |
| 越谷市の数値 | — | — | 7.6 | 49.9 |
| 早期健全化基準 | 11.25 | 16.25 | 25.0 | 350.0 |
| 財政再生基準 | 20.00 | 30.00 | 35.0 | |

※「一般会計等」とは、一般会計に特別会計の一部を加えたものです。

※「標準財政規模」とは、通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税、臨時財政対策債発行可能額を加算した額です。

※黒字の場合は「—」で表示していますが、実質赤字比率は△8.23%、連結実質赤字比率は△17.26%となっています。

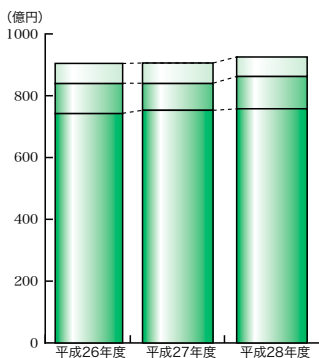


※各指標の平成28年度県内市町村及び全国市町村平均の数値は速報値のため、今後変動する場合があります。

※実質公債費比率は平成17年度から算定されています。

将来負担比率の算定にかかる「将来負担すべき実質的な負債」の推移(主なもの)

(単位：万円)



| | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------------------|---------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 市債の現在高 | 市が建設事業などのために借りたお金(借金)の残高 | 7,421,210 | 7,528,112 | 7,578,185 |
| 債務負担行為に基づく支出予定額 | 2年以上にわたる長期間の契約などによって支出が決まっているもの | 971,581 | 866,013 | 1,043,287 |
| 土地開発公社の負債額等負担見込額 | 土地開発公社が解散した場合に市が金融機関などに対して保証する額 | 652,755 | 664,623 | 631,645 |

資金不足比率

一般会計等に属さない公営企業会計における資金の不足額が、事業の規模に占める比率です。平成28年度決算による算定では、公営企業会計における資金不足は生じていません。

(単位：%)

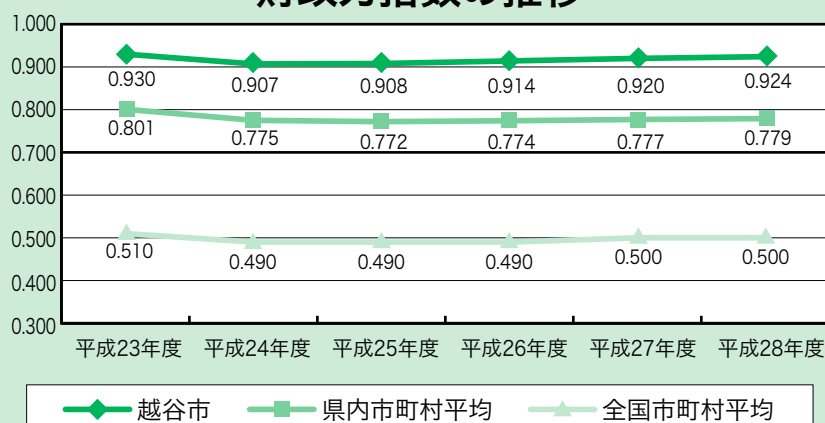
| 特別会計名 | 東越谷 土地区画整理事業 | 七左第一 土地区画整理事業 | 公共下水道事業 | 病院事業 |
|---------|-----------------|------------------|---------|------|
| 越谷市の数値 | — | — | — | — |
| 経営健全化基準 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 |

※資金剰余の場合は「—」で表示していますが、東越谷土地区画整理事業費会計は△8,614.5%、七左第一土地区画整理事業費会計は△72.9%、公共下水道事業費会計は△13.7%、病院事業会計は△13.7%となっています。

平成20年度決算からは、それぞれの指標の数値が、早期健全化基準（財政再生基準）を上回った場合は、財政健全化計画（財政再生計画）を定めることが義務付けられています。同様に、公営企業会計については、経営健全化基準を上回った場合は、経営健全化計画の策定が義務付けられています。

主な財政指標

財政力指数の推移



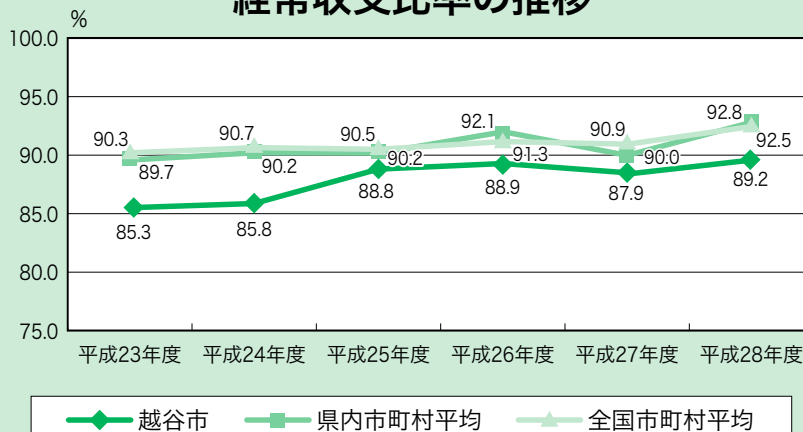
財政力指数

地方公共団体の財政基盤の強弱を表す指数で、普通交付税を算定する際に用いる、基準財政収入額を基準財政需要額で割った数の過去3か年の平均値を指数として用いたものです。単年度で指数が「1」以上の場合、その年の普通交付税は交付されません。つまり、1に近い、あるいは1を超えるほど財源に余裕があるものとされています。越谷市の場合は、全国平均より上位に位置しています。

経常収支比率

人件費や公債費など毎年度経常的に支出する経費が、地方税など、毎年度経常的に収入される一般財源の総額に占める割合。個人の生活にたとえば、毎月の給与のうち、どの程度が日常の消費支出や住宅ローンなどの返済に充てられているかの割合です。比率が高いほど財政の弾力性に欠けるとされており、越谷市の場合は全国平均より低い比率になっています。

経常収支比率の推移



※平成28年度決算財務書類につきましては、越谷市のざいせい状況<平成29年度下半期>に掲載予定です。



平成29年12月発行
越谷市役所 行財政部財政課
TEL 048-963-9115(直通)
FAX 048-965-8028